MASPRO

CATV 隣接チャンネル伝送用 ヘッドアンプ(受信用増幅器)

取扱説明書

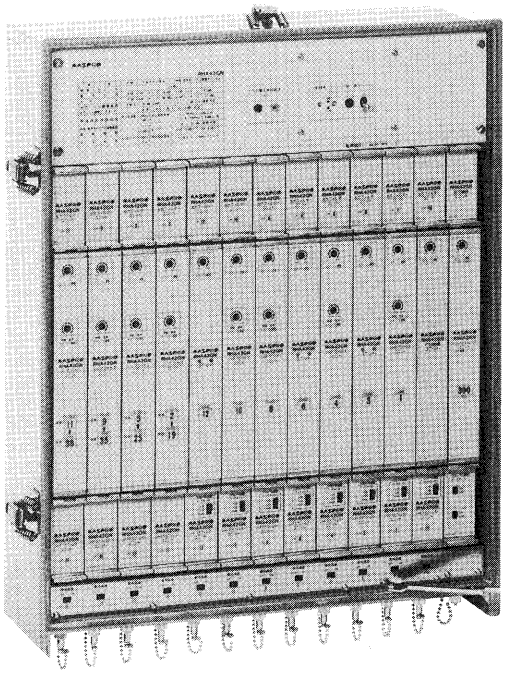
HEAD AMPLIFIERS
入力：FM・VHF・UHF(チャンネル指定)
出力：FM・VHF (ch1～12)(チャンネル指定)

パイロットジェネレーター装着可能
RHA42GN

パイロットジェネレーター内蔵
RHA42GPGN

チャンネルプロセス方式

映像・音声キャリア独立 AGC 付



124RHA42GPGN8

電源の仕様 (指定による)

受電電圧	●AC100V ●AC20～30V ※ ●AC40～60V ※

※AC20～30V，AC40～60Vともに直接受電，ケーブル重畳受電の両方の仕様があります。

MASter of PROduction 生産の覇者

高度なシステムに対応する性能と機能

高性能SAWフィルター内蔵

VHF，VV，UVの各プロセスユニットは，周波数特性や群遅延特性に優れたSAW(弾性表面波)フィルターによって，入力信号を映像と音声信号に分離して，レベルを最適に調整する方式ですから，色ずれや音声ひずみのない高品質の画像で隣接チャンネル伝送ができます。

映像・音声キャリア独立AGC方式

映像と音声キャリアの信号レベルは，それぞれ独立したAGC(自動利得制御)回路で制御する方式ですから，選択性フェージングによって映像と音声信号のキャリア比が変化しても，初めに設定した最適レベルのままで運用することができます。

完全シールド構造

フタと本体ケースの接触面にシールドメッシュを使用したシールド構造ですから，不要放射は20dBμ/m以下(測定距離1m)です。

外部入・出力測定端子

本体ケースの扉を開けることなく，入・出力レベルのチェックができます。

便利なユニット式のVVコンバーター

VVプロセスユニット(VHF→VHF変換)がユニット式になっていますので，出力チャンネルの変更もユニットの差換えで簡単にできます。

●ご使用の前に，この「取扱説明書」をよくお読みください。
●お読みになったあとは，保存してください。

マルチメディアの MASPRO ＝マスプロ電工＝

各部の名称と機能

電源部

詳しくは，下の 電源部 をご覧ください。

VHFプロセスユニット

p.3「プロセスユニット」をご覧ください。

UVプロセスユニット

p.3「プロセスユニット」をご覧ください。

VHF入力フィルターユニット

p.3「入力フィルターユニット」をご覧ください。

UHF入力フィルターユニット

p.3「入力フィルターユニット」をご覧ください。

電流通過スイッチ（入力端子用）

入力側にプリアンプまたはコンバーターを使用する場合，そのチャンネルのスイッチだけを「ON」にしてください。

出力フィルターユニット

p.4「出力フィルターユニット」をご覧ください。

出力接続ユニット

p.4「出力接続ユニット」をご覧ください。

増幅ユニット

p.4「増幅ユニット」をご覧ください。

FM増幅ユニット

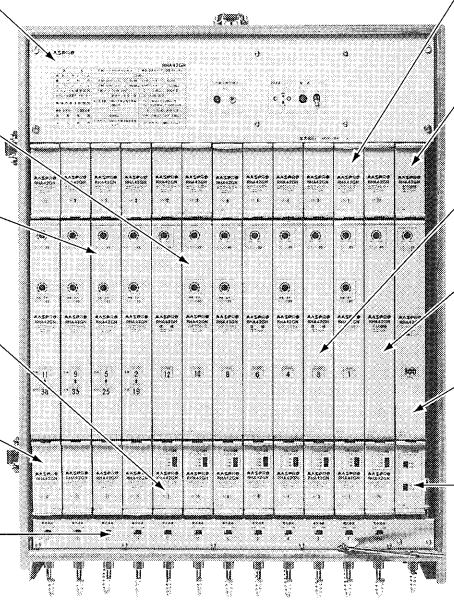
p.4「増幅ユニット」をご覧ください。

パイロットジェネレーターユニット（出力増幅ユニット内蔵）

p.4「パイロットジェネレーターユニット」をご覧ください。

出力レベル調整アッテネーターユニット

p.5「出力レベル調整アッテネーターユニット」をご覧ください。



写真は，TV11チャンネル＋FM
124RHA42GPGN8

入力測定端子（⊖10dB）

（F型コネクター）

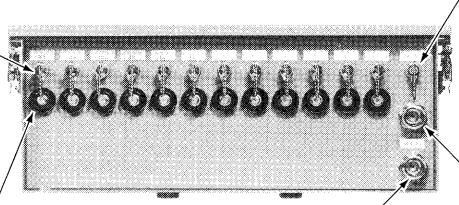
ご注意

ダミー抵抗器付きのメタルキャップが取付けてあります。レベルの測定をした後は，必ず元の状態に戻して，しっかり締付けてください。

入力端子

（F型コネクター）

（電流通過スイッチが「ON」になっている入力端子からは，AC20～30Vの電源が供給できます。）



出力測定端子（⊖20dB）

（F型コネクター）

この端子にテレビを接続して，画質をチェックできます。

ご注意

メタルキャップが取付けてあります。レベルの測定をした後は，必ず元の状態に戻して，しっかり締付けてください。

直接受電端子

（FT型コネクター）

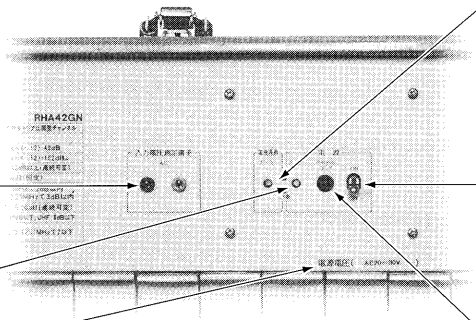
p.3「電源受電について」をご覧ください。

出力端子

（FT型コネクター）

（別売のFTFJアダプターを取付ければ，F型コネクターが使用できます。）

電源部



ブレーカー

（定格1A）

入力側に接続した，プリアンプ，コンバーターなどの電源にショートなどの異常が発生し，定格電流値を超えると作動して，本器からの電源供給を停止します。

入力電圧測定端子

受電電圧を測定する端子です。AC100V方式の機器には，ありません。

電源スイッチ

（ロック機構付き）

電流通過スイッチを操作してから「ON」にしてください。

（ノブを手前に引きながら操作してください。）

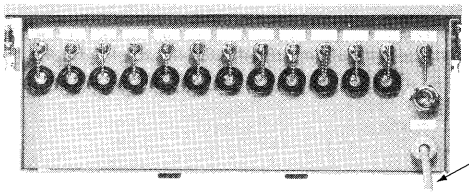
ブレーカー

電源電圧表示

本器の作動電源電圧が表示してあります。

パイロットランプ

電源受電について（ご指定の方式で電源を受電してください）

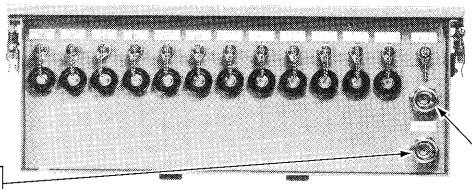


AC100V方式

ACコード（約1m）

（コードを延長するために，途中で切断して，別のコードをつなぐことは，電気設備技術基準で禁じられています。）

AC20～30VまたはAC40～60V方式
（直接受電）



AC20～30VまたはAC40～60V方式
（ケーブル重畳受電）

出力端子（FT型コネクター）

ケーブル重畳受電方式の場合，表示されている電源電圧ケーブルに重畳して，この端子から受電してください。

直接受電端子
（FT型コネクター）

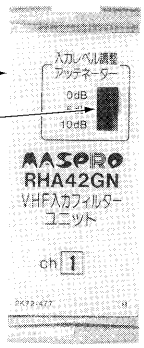
直接受電方式の場合，CATV用電源供給器を使用して，表示されている電源電圧をこの端子から受電してください。
（ケーブル重畳受電方式の場合，この端子はありません）

入力フィルターユニット（ユニットは，すべてチャンネルごとの専用ユニットです）

VHF入力フィルターユニット

入力レベル調整アッテネーター

入力レベルが75dBμを超える場合，5dBまたは10dB側に切換えてください。



UHF入力フィルターユニット

プロセスユニット

受信したTV信号を映像信号と音声信号に分離し，映像・音声キャリア比が調整できるユニットです。
（隣接チャンネル伝送するときに使用します）

VHFプロセスユニット

VVプロセスユニット

VHF→VHFに変換するときに使用します。
（強電界地域で前ゴーストが発生するような場合，ゴースト対策のため，チャンネルを変換するときに使用します。）

UVプロセスユニット

UHF→VHFに変換するときに使用します。

出力端子

出力フィルターユニットを接続します。

出力レベル調整

出力レベルが0～⊖10dBの範囲で連続して調整できます。

映像・音声キャリア比調整

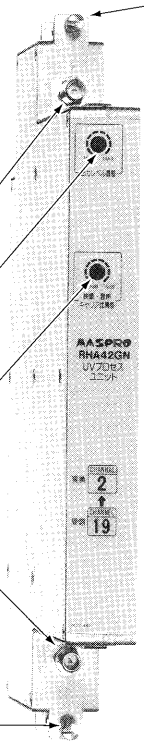
出力信号の映像・音声キャリア比が⊖6～⊖20dBの範囲で連続して調整できます。

入力端子

- VHFプロセスユニットまたはVVプロセスユニットは，VHF入力フィルターユニットと接続します。
- UVプロセスユニットでは，UHF入力フィルターユニットを接続します。

ロックシャフト

ユニットをケースに固定します。



UVコンバーターユニット

受信したUHFのTV信号をVHFのTV信号に変換するためのユニットです。
（このユニットは，映像・音声キャリア比を調整しないチャンネルに使用します。）

ロックシャフト

ユニットをケースに固定します。

出力端子

出力フィルターユニットを接続します。

出力レベル調整

出力レベルが0～⊖10dBの範囲で連続して調整できます。

入力端子

UHF入力フィルターユニットを接続します。

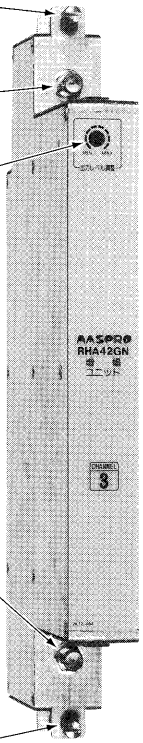
ロックシャフト

ユニットをケースに固定します。

各調整用ノブ（p.5「調整用ドライバー収納位置」をご覧ください）は付属の調整用ドライバーで，静かに回して調整してください。

増幅ユニット　FM増幅ユニット　増幅ユニット

受信したFMやVHFのTV信号を増幅するためのユニットです。
（映像・音声キャリア比を調整しないチャンネルに使用します）



ロックシャフト
ユニットをケースに固定します。

出力端子
出力フィルターユニットを接続します。

出力レベル調整
- ●FM増幅ユニットは，出力レベルが0～㊀30dBの範囲で連続して調整できます。
- ●増幅ユニットは，出力レベルが0～㊀10dBの範囲で連続して調整できます。

［調整用ドライバーで，静かに回して調整してください。（p.5「調整用ドライバー収納位置」をご覧ください。）］

入力端子
VHF入力フィルターユニットを接続します。

ロックシャフト
ユニットをケースに固定します。

出力増幅ユニット

FM・ch1～12の混合信号をヘッドアンプの定格出力レベルに増幅するユニットです。

ロックシャフト
ユニットをケースに固定します。

入力端子
出力接続ユニットを接続します。

出力端子
出力レベル調整アッテネータユニットを接続します。

ロックシャフト
ユニットをケースに固定します。

出力フィルターユニット

（すべてのチャンネルごとに専用の指定ユニットになります。）

出力接続ユニット

混合されたFM・ch1～12の信号を出力増幅ユニットまたはパイロットジェネレーターユニットに中継するためのユニットです。

パイロットジェネレーターユニット（出力増幅ユニット内蔵）

パイロット信号を送出するためのユニットです。（周波数は，148MHz，246MHz，298MHz，300MHzがあります）

ロックシャフト
ユニットをケースに固定します。

入力端子
出力接続ユニットを接続します。

出力レベル調整
出力レベルが0～㊀15dBの範囲で連続して調整できます。

［調整用ドライバーで，静かに回して調整してください。（p.5「調整用ドライバー収納位置」をご覧ください。）］

出力端子
出力レベル調整アッテネーターユニットを接続します。

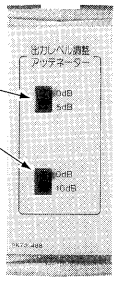
ロックシャフト
ユニットをケースに固定します。

出力レベル調整アッテネーターユニット

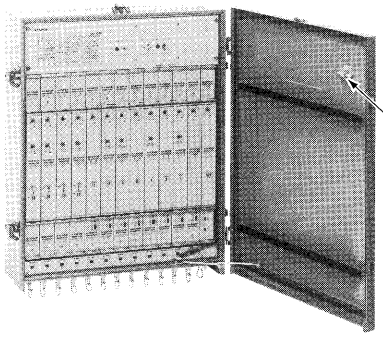
FM・ch1～12とパイロット信号の出力レベルを調整するためのユニットです。

出力レベル調整アッテネーター

2つのスイッチを操作することによって，出力レベルを5，10，15dB減衰できます。



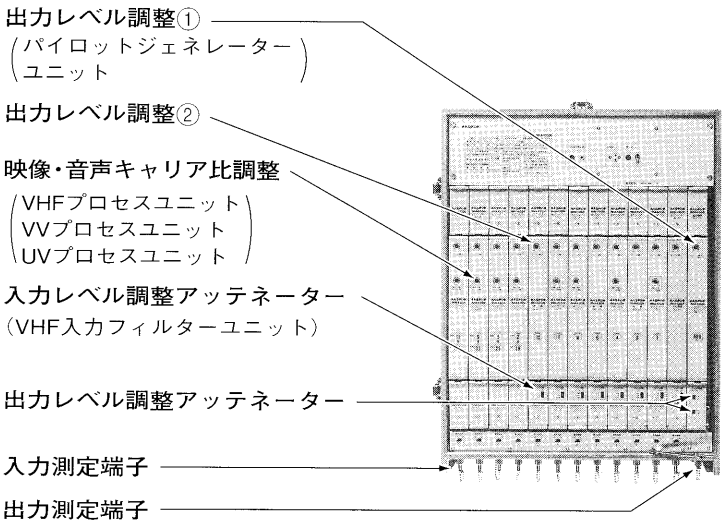
調整用ドライバー収納位置



この位置に収納してあります。

各調整用ノブは調整用ドライバーで，静かに回して調整してください。

レベル調整の順序と方法



出荷のときは，入・出力レベル調整アッテネーターは，すべて0dBに設定してあります。

1 入力レベルの設定

- AGCを効果的に作動させるために，入力レベルが65～75dBμの範囲内で使用してください。
- 65dBμに満たない場合，別売のプリアンプ（**PA25SN**，**PA25LN**，**PA25HN**，**PA25**，**UPA25N**，**UPA35**）を使用して入力レベルを上げてください。
- 入力レベルが75～85dBμの場合，VHF入力フィルターユニットの入力レベル調整アッテネーターで入力レベルを下げてください。
  （ただし，VHFチャンネル受信のときだけ）
- 入力レベルが85dBμを超える場合，入力端子に別売の外付けアッテネーター（**ATT1.5，3，6，10，15，20**）を使用し，入力レベルを下げてください。
  （ただし，UHFチャンネルの受信時には，80dBμを超えると外付けアッテネーターが必要になります。）
- FMの入力レベルは，65～75dBμにしてください。

2 出力レベルの設定

出力レベル調整①と②，および出力レベル調整アッテネーターを使用して，CATV施設の定格レベルになるように調整してください。
（FM増幅ユニットの出力レベル調整②は，出荷時，MIN.（最小）にしてあります。）

3 映像・音声キャリア比の設定（隣接チャンネル伝送時）

VHFプロセスユニット，VVプロセスユニット，およびUVプロセスユニットの映像・音声キャリア比調整で，音声キャリアのレベルが上側に隣接するチャンネルの映像キャリアレベルより，11～14dB低くなるように調整してください。

ご注意

使用する測定器の種類によって，レベルの表示値が異なります。一例として平均値表示測定器で102dBμに調整する場合，下表のように108dBμになります。

映像信号レベルとパイロット信号および音声信号レベルの関係

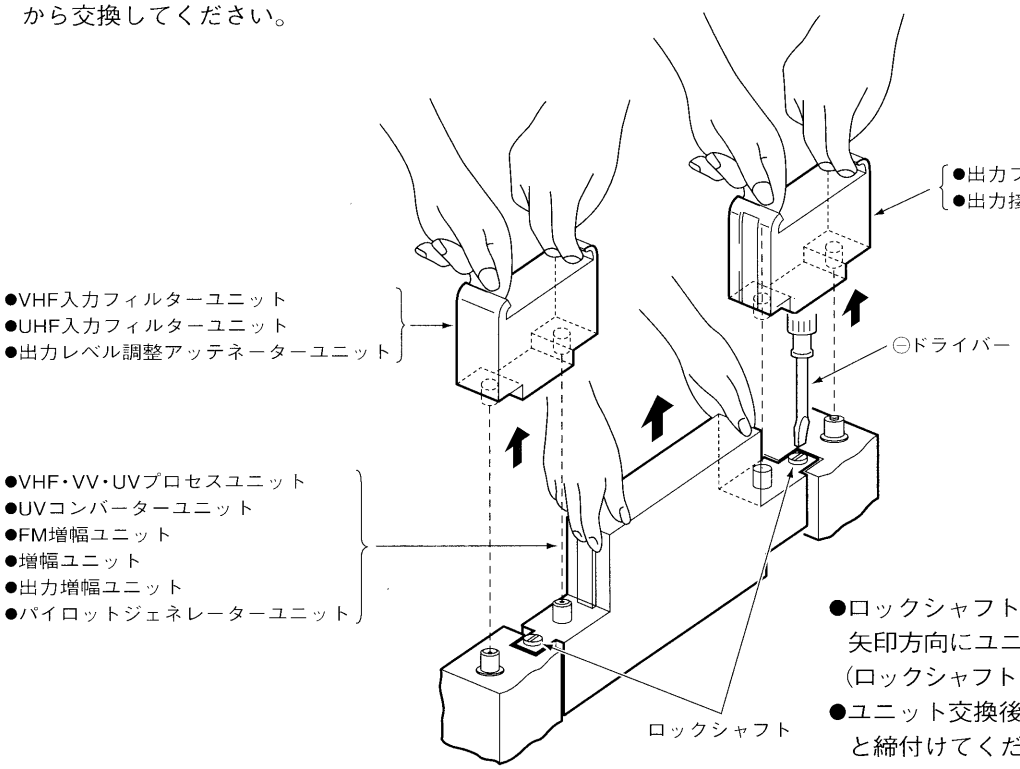
測定器の種類	映像信号レベル	パイロット信号および音声信号レベル	備　考
先頭値表示測定器（スペクトラムアナライザー）	102dBμ	102dBμ	終端値
平均値表示測定器（C型電測計）		108dBμ	開放値

ユニットの交換方法

●ユニットを交換するときは，必ず電源スイッチを「OFF」にしてください。

●VHF・VV・UVプロセスユニット，UVコンバーターユニット，ＦＭ増幅ユニット，増幅ユニットを交換するときは，交換しようとするユニットのＶＨＦ入力フィルターユニットまたはＵＨＦ入力フィルターユニットと出力フィルターユニットを先に取外してから交換してください。

●同様に出力増幅ユニット，パイロットジェネレーターユニットを交換するときも，出力レベル調整アッテネーターユニットと出力接続ユニットを先に取外してから交換してください。



●ロックシャフトを⊖ドライバーでゆるめてから，矢印方向にユニットを引抜いてください。
（ロックシャフトは，ゆるめても抜け落ちません）

●ユニット交換後は，ロックシャフトをしっかりと締付けてください。

受信チャンネルの追加

追加するチャンネルが，隣接チャンネル伝送にならないとき

例	ch1，3，4，5，6，8，10を受信しているところに，ch12を追加

「ch12」用増設ユニットが必要です。

ch12用 増設ユニット	1. VHF入力フィルターユニット（UHFチャンネルのときは，UHF入力フィルターユニット） 2. 増幅ユニット（UHFチャンネルのときは，UVコンバーターユニット） 3. 出力フィルターユニット

追加するユニットの装着位置（予備のラベルで表示してある位置）に
ch12用増設ユニットを装着してください。

追加するチャンネルの両隣りのチャンネルが，隣接チャンネル伝送になるとき

例 | ch1, 3, 4, 5, 6, 8, 10, 12を受信しているところに，ch11を追加

「ch10」用と「ch11」用増設ユニットが必要です。

ch10用 増設ユニット ※1	VHFプロセスユニット（ch10に，すでにVHFプロセスユニットを使用しているときは不要です）
ch11用 増設ユニット ※2	1. VHF入力フィルターユニット（UHFチャンネルのときは，UHF入力フィルターユニット） 2. VHFプロセスユニット（UHFチャンネルのときは，UVプロセスユニット） 3. 出力フィルターユニット

※1 ch10の増幅ユニットをVHFプロセスユニットに交換してください。
※2 追加するユニットの装着位置（予備のラベルで表示してある位置）に
上記ch11用増設ユニットを装着してください。

追加するチャンネルの上側のチャンネルが，隣接チャンネル伝送になるとき

例 | ch1, 3, 5, 9, 11, 12を受信しているところに，ch4を追加

「ch4」用増設ユニットが必要です。

ch4用 増設ユニット	1. VHF入力フィルターユニット（UHFチャンネルのときは，UHF入力フィルターユニット） 2. VHFプロセスユニット（UHFチャンネルのときは，UVプロセスユニット） 3. 出力フィルターユニット

追加するユニットの装着位置（予備のラベルで表示してある位置）に
上記1～3のch4用増設ユニットを装着してください。

追加するチャンネルの下側のチャンネルが，隣接チャンネル伝送になるとき

例 | ch2, 5, 9, 10, 11を受信しているところに，ch3を追加

「ch2」用と「ch3」用増設ユニットが必要です。

ch2用 増設ユニット ※1	VHFプロセスユニット（ch2に，すでにVHFプロセスユニットを使用しているときは不要です）
ch3用 増設ユニット ※2	1. VHF入力フィルターユニット（UHFチャンネルのときは，UHF入力フィルターユニット） 2. 増幅ユニット（UHFチャンネルのときは，UVコンバーターユニット） 3. 出力フィルターユニット

※1 ch2の増幅ユニットをVHFプロセスユニットに交換してください。
※2 追加するユニットの装着位置（予備のラベルで表示してある位置）に
ch3用増設ユニットを装着してください。

交換した増幅ユニットについて

受信チャンネルの追加により，余った増幅ユニットは，VHFのどのチャンネルにも使用できますから，予備のユニットとして保管しておいてください。

パイロットジェネレーターユニットの追加

●パイロットジェネレーターユニット（出力増幅ユニット内蔵）を用意してください。
●出力増幅ユニットをパイロットジェネレーターユニットに交換してください。

ご注意

パイロットジェネレーターユニットを追加したときは，出力レベルがシステムの設定値と異なります。p.5の「レベル調整の順序と方法」にしたがってレベルを再調整してください。

正しく使用していただくために

予定のレベルやよい画質が得られないときは，次のチェックをしてください。

出力端子に信号が出ない

❶電源が供給されていますか。
- ●電源スイッチのチェックまたは電源供給器のチェック　●電圧のチェック
- ●コネクターとケーブルの接続チェック　●後段アンプの電流通過スイッチのチェック

❷入力信号が来ていますか。（入力測定端子でチェック）
- ●電流通過スイッチのチェック（プリアンプまたはコンバーターを使用している場合）
- ●コネクターとケーブルの接続チェック

入・出力レベルを測定するときの注意

レベルを測定するときは，測定用75Ωケーブルの減衰量も加算してください。

実際のレベル＝測定値＋測定端子結合量（20dB）＋ケーブル減衰量

S5CFV　15mの減衰量

周波数（MHz）	76	90	148	222	246	300	470	770
減衰量（dB）	0.8	0.9	1.2	1.5	1.6	1.8	2.3	3.1

以上の方法でもトラブルが解決できない場合，お近くの当社支店・営業所または本社技術相談までお問合わせください。

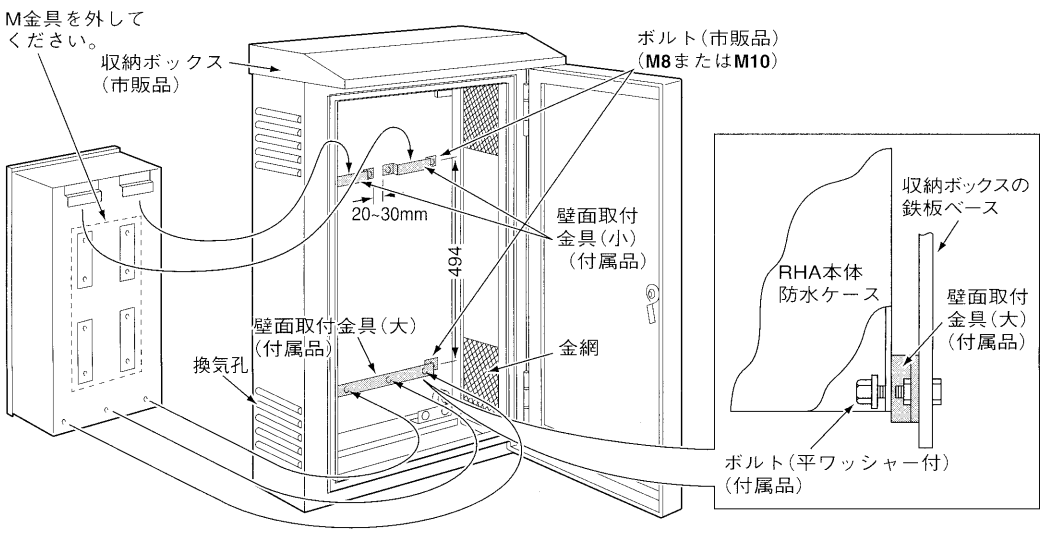
使用環境について

- ●本器は，屋外に直接設置できるように設計してありますが，常に周辺温度が高くなる場所，風通しの悪い場所への設置は避けてください。
- ●塩害を受けやすい場所で使用する場合，お近くの当社支店・営業所または本社技術相談までお問合わせください。

取付方法

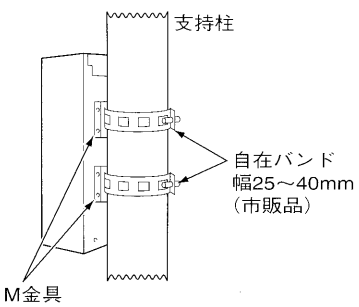
収納ボックスの場合

- ●換気孔付きの収納ボックスを使用してください。
- ●収納ボックスは外観寸法で，830（H）×700（W）×250（D）mmより大きなものを使用してください。



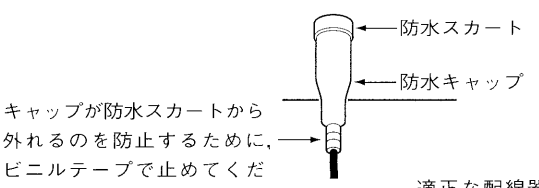
支持柱の場合

風通しのよい場所に設置してください。

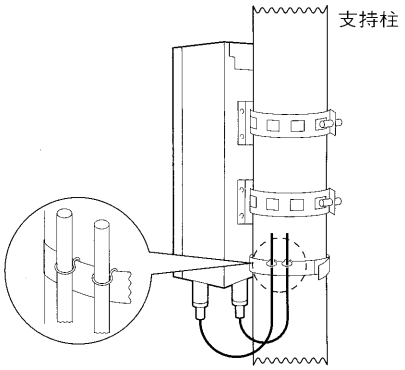


ケーブルの処理と防水の方法

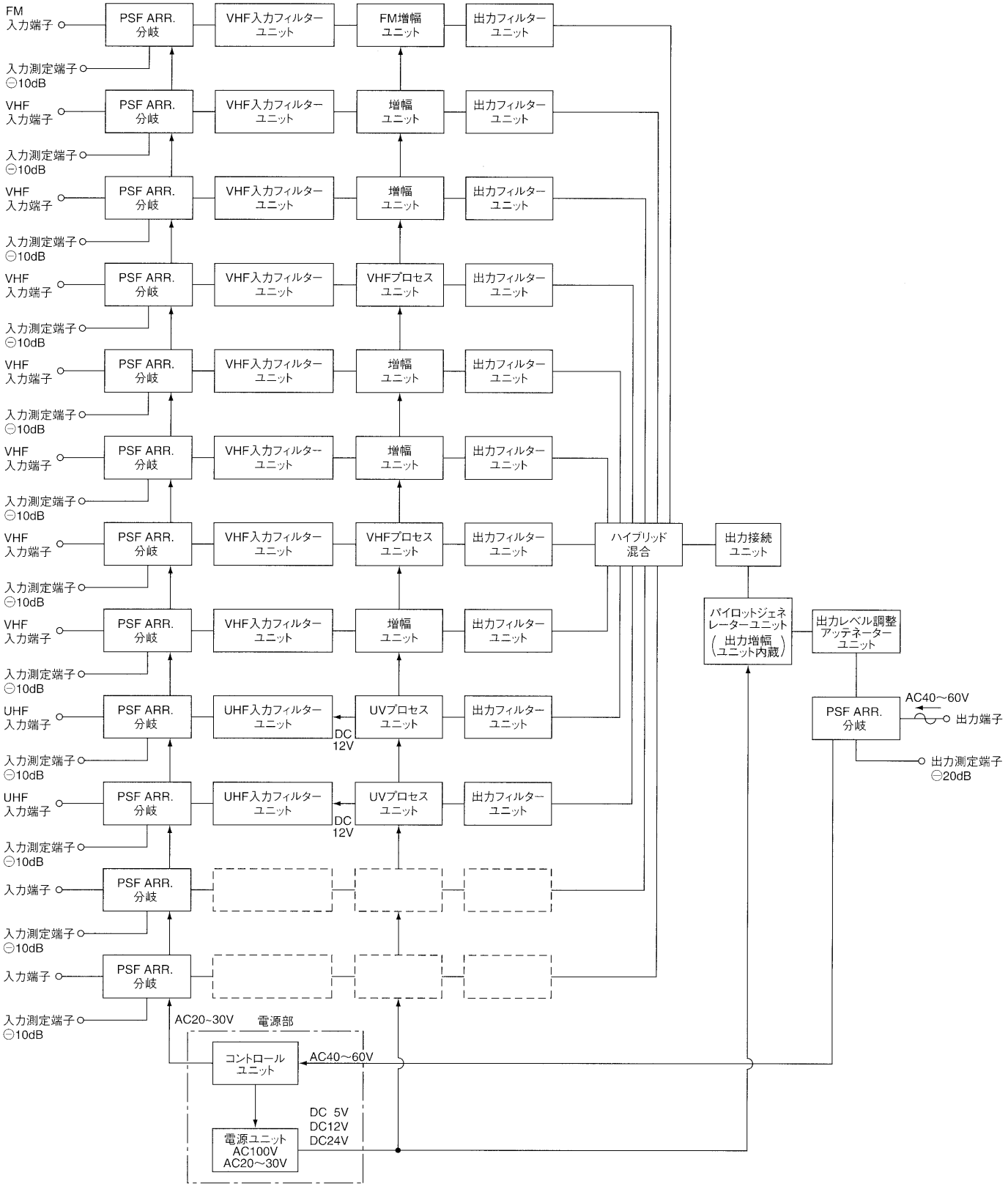
入力端子には，必ず付属の防水キャップをかぶせてください。
（防水キャップは，F型コネクターまたは防水F型コネクターを使用したどちらの場合にも使用できます。）



適正な配線器具を使用して，ケーブルをしっかりと固定してください。また，ケーブルの外被にキズが付かないように，よく注意して配線してください。



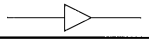
ブロックダイヤグラム　（102RHA42GPGN4の例）



PSF　：電源分離フィルター
ARR.　：避雷器

規格表 Specifications

MASPRO

項目 Items		ノーマルチャンネル			映像・音声キャリア比調整チャンネル	
受信チャンネル Reception Channels		VHF（ch1～12），UHF（ch13～62）の内，指定の最大11チャンネルとFM				
		FM ※	VHF（ch1～12）	UHF（ch13～62）	VHF（ch1～12）	UHF（ch13～62）
出力チャンネル Output Channels		VHF（ch1～12）の内，最大隣接11チャンネルとFMおよびパイロット信号				
標準入力レベル Input Level		70dBμ				
最大利得 Maximum Gain		36dB	VHF（ch1～3）：36dB　VHF（ch4～12）：42dB			
標準利得 Operating Gain		————	VHF（ch1～3）：26dB　VHF（ch4～12）：32dB			
出力レベル調整範囲 Output Level Control Range		0～⊖30dB（連続可変）	VHF（ch1～12）：0～⊖10dB（各チャンネル連続可変）			
出力レベル調整アッテネーター Output Level Control Attenuator		5dB，10dB，15dB（FM・ch1～12およびパイロット信号）				
入力レベル調整アッテネーター Input Level Control Attenuator		5dB，10dB		————	5dB，10dB	————
映像・音声キャリア比調整範囲 V/A Carrier Ratio Control Range		————			⊖6～⊖20dB（連続可変）	
帯域内周波数特性 Passband Response		指定帯域内で2dB以内	中心周波数±3MHzで 2dB以内	3dB以内	映　像：fv $^{+3.5}_{-0.5}$ MHzで2dB以内 音　声：fa ±0.25 MHzで3dB以内	
帯域外減衰量 Out-of-Band Rejection		指定帯域外±6MHzで15dB以上	中心周波数±9MHzで 15dB以上	50dB以上	映　像：fv $^{+4.5}_{-1.5}$ MHzで30dB以上 音　声：fa±1.5 MHzで40dB以上 隣々接：中心周波数±9MHzで57dB以上	
利得安定度 Temperature Stability		±2dB以内	————			
出力レベル安定度 Output Level Stability		————	±2dB以内			
AGC特性 AGC Regulation		————	入力70dBμ±10dBで出力変動±1.5dB以内			
映像・音声キャリア比特性 V/A Carrier Ratio Regulation		————			入力での映像・音声キャリア比が⊖6dB±10dBで出力変動±1dB以内	
スケルチ特性 Squelch Suppression		————	入力信号がないときに作動し，出力雑音抑圧量15dB以上			
最大出力レベル Maximum Output Level		96dBμ	VHF（ch1～3）：96dBμ　VHF（ch4～12）：102dBμ			
雑音指数 Noise Figure		10dB以下				8dB以下
インピーダンス（コネクター） Impedance (Connector)	入力 Input	75Ω（F型コネクター）				
	出力 Output	75Ω（FT型コネクター）				
VSWR		入・出力とも 指定帯域内で2以下	入・出力とも 中心周波数±3MHzで2以下		入・出力とも：fv $^{+4.5}_{-0.5}$ MHzで2以下	
カラー混変調 Color Cross Modulation		————	⊖30dB以下			
4.5MHzビート 4.5MHz Beat		————	⊖55dB以下			
ハム変調 Hum Modulation		⊖60dB以下				
局部発振方式 Type of Local Oscillator		————	PLL方式			
局発安定度 Temperature Stabillity of Local Osc.		————	±20kHz以内			
映像妨害比 Image Rejection		————	⊖35dB以下		⊖60dB以下	
スプリアス Spurious		⊖60dB以下（帯域内）				
不要放射 Radiation		20dBμ/m以下（測定距離：1m）				
測定端子結合量 Tap Value of Test Point		入力⊖10dB（F型コネクター），出力⊖20dB（F型コネクター）				
使用温度範囲 Temperature Range		⊖20～⊕40℃				
耐サージ電圧 Surge Protection Voltage		入・出力とも：正負　各25kV（1.2/50μs）のサージ電圧に耐えること				
電源 Power Requirements		AC100V，AC40～60V，AC20～30Vのいずれか指定　50・60Hz				
消費電力 Power Consumption		別表（p.11）				
外観寸法 Dimensions		582（H）×468（W）×212（D）mm				
重量 Weight		約32kg（**92RHA42GPGN4**）				
シンボル Symbol						

※ FMの周波数帯域：ch1を受信するとき　76～86MHz
：ch1を受信しないとき　76～90MHz

マスプロの規格表に絶対うそはありません。ご理解と信頼あるデータにご期待ください。

規格表 Specifications

パイロットジェネレーターユニット

MASPRO

項目 *Items*	規格
周波数 *Frequency*	148MHz，246MHz，298MHz，300MHzのうち，指定の1波
出力レベル *Output Level*	102dBμ以上（RHA本体の出力端子）
出力レベル調整範囲 *Output Level Control Range*	0～⊖15dB（連続可変）
出力レベル安定度 *Output Level Stability*	±1dB以内
周波数安定度 *Temperature Stability of Pilot Freq.*	±20kHz以内

マスプロの規格表に絶対うそはありません。
ご理解と信頼あるデータにご期待ください。

消費電力

Model（型式）や受電電圧によって，消費電力・電流は下表のようになります。

型式の読み方

□□RHA42GPGN□

- □□：受信局数（最大11チャンネル＋FM）
- RHA42G：変換チャンネル局数（最大11チャンネル）
- PGN：パイロットジェネレーター内蔵
- □：プロセスユニットの数（最大11個）

表は1局当たりの消費電力・電流

MASPRO

Model ＼ 項目	AC100V	AC40～60V受電				AC20～30V受電			
	消費電力〔W〕	消費電力〔W〕	電流〔A〕			消費電力〔W〕	電流〔A〕		
			40V	50V	60V		20V	25V	30V
60RHA42GN	20.8	20.8	0.71	0.61	0.53	20.8	1.32	1.12	1.02
81RHA42GN2 ※1	28.5	28.5	0.96	0.8	0.69	28.5	1.79	1.48	1.33
92RHA42GPGN4 ※2	36.1	36.1	1.23	1	0.87	36.1	2.29	1.87	1.67

※1 **81RHA42GN2**（増幅ユニット：6台，UVプロセスユニット：1台，VHFプロセスユニット：1台 装着時）
※2 **92RHA42GPGN4**（増幅ユニット：5台，UVプロセスユニット：2台，VHFプロセスユニット：2台，パイロットジェネレーター 装着時）

RHA42GNベース	14.2	14.2	0.47	0.43	0.41	14.2	0.9	0.82	0.78
RHA42GPGNベース	15.2	15.2	0.53	0.47	0.45	15.2	1	0.9	0.85
FM増幅ユニット	0.5	0.5	0.02	0.01	0.01	0.5	0.03	0.03	0.02
増幅ユニット	1.1	1.1	0.04	0.03	0.02	1.1	0.07	0.05	0.04
VHFプロセスユニット	3.1	3.1	0.1	0.08	0.07	3.1	0.19	0.15	0.13
VVプロセスユニット	4.3	4.3	0.14	0.11	0.09	4.3	0.26	0.2	0.17
UVプロセスユニット	4.6	4.6	0.15	0.11	0.09	4.6	0.28	0.21	0.18
UVコンバーターユニット	2.8	2.8	0.08	0.07	0.06	2.8	0.16	0.14	0.12

ヘッドアンプの消費電力・電流は，**RHA42GN**ベース（パイロットジェネレーターなし）または**RHA42GPGN**ベース（パイロットジェネレーター内蔵）と，必要な各ユニットの電力を加算することにより求められます。「下記の消費電力の計算例」を参考に算出してください。

消費電力の計算例

94RHA42GN4をAC50Vで使用した場合の消費電力は，次のように計算します。
（増幅ユニット：3個，UVコンバータユニット：2個，UVプロセスユニット：2個，VHFプロセスユニット：2個使用の場合）

消費電力

1.1W×3（増幅ユニット数） ＋ 2.8W×2（UVコンバーターユニット数） ＋ 4.6W×2（UVプロセスユニット数） ＋ 3.1W×2（VHFプロセスユニット数） ＋ 14.2W（**RHA42GN**ベース） ＝ 38.5W

電　流

0.03A×3 ＋ 0.07A×2 ＋ 0.11A×2 ＋ 0.08A×2 ＋ 0.43A ＝ 1.04A

変換不可能チャンネル表

下記に該当するチャンネルのUVコンバーターユニットは，局部発振の影響でビート妨害が発生するため生産しておりません。

UHF→VHF	UHF→VHF
ch19→ch4	ch33→ch8・9
ch20→ch4	ch34→ch9
ch21→ch4	ch35→ch9
ch22→ch4・5	ch36→ch9・10
ch23→ch5	ch37→ch10
ch24→ch5	ch38→ch10
ch25→ch5・6	ch39→ch10・11
ch26→ch6	ch40→ch11
ch27→ch6	ch41→ch11
ch28→ch6・7	ch42→ch11・12
ch29→ch7	ch43→ch12
ch30→ch7・8	ch44→ch12
ch31→ch7・8	ch45→ch12
ch32→ch8	

上記の他にも，受信チャンネルが他にある場合，ビート妨害が出ることがあります。詳しくはお近くの支店・営業所または本社技術相談までお問合わせください。

ご注文時の指定事項

受信チャンネル，変換チャンネル，入力本数，パイロットジェネレーターの周波数（148，246，298，300MHzのいずれか）および電源の受電方式と受電電圧を明確にご指定ください。

ご注意

- UHFの入力は，各チャンネルごとの入力になります。
- UHFからVHFに変換したTVチャンネルを，隣接チャンネルで入力するときは，そのチャンネルの専用入力になります。
- 電源容量はAC90VAまで，消費電流は3A（MAX.）です。

付属品

防水キャップ …… 入力端子の数
ボルト（壁面取付用） …… 3本
壁面取付金具（小） …… 2個
壁面取付金具（大） …… 1個

製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。

マルチメディアの
＝マスプロ電工＝
本社 〒470-0194（本社専用番号）愛知県日進市浅田町
営業部 TEL名古屋(052)802-2244
工事営業部 〃 (052)802-2225
技術相談 〃 (052)805-3366
インターネットホームページ www.maspro.co.jp

支店・営業所
沖縄 (098)854-2768
鹿児島 (099)812-1200
宮崎 (0985)25-3877
熊本 (096)381-7626
長崎 (095)864-6001
福岡(支)(092)531-3861
北九州 (093)941-4026
下関 (0832)55-1130
徳山 (0834)32-2954
広島 (082)230-2351
松江 (0852)21-5341
岡山 (086)252-5800
松山 (089)973-5656
高知 (088)882-0991
高松 (087)865-3666
姫路 (0792)34-6669
神戸 (078)843-3200
大阪(支)(06)6635-2222
工事営業部(06)6632-1144
京都 (075)646-3800
津 (059)234-0261
岐阜 (058)275-0805
名古屋(支)(052)802-2233
工事営業部(052)804-6262
豊橋 (0532)33-1500
静岡 (054)283-2220
松本 (0263)57-4625
福井 (0776)23-8153
金沢 (076)249-5301
新潟 (025)287-3155
横浜 (045)784-1422
渋谷(支)(03)3409-5505
工事営業部(03)3499-5631
秋葉原 (03)3255-7335
青戸 (03)3695-1811
八王子 (0426)37-1699
千葉 (043)232-5335
さいたま (048)663-8000
前橋 (027)263-3767
水戸 (029)248-3870
宇都宮 (028)660-5008
郡山 (024)952-0095
仙台 (022)786-5060
盛岡 (019)641-1681
秋田 (018)862-7523
青森 (017)742-4227
函館 (0138)53-7355
札幌 (011)782-0711
釧路 (0154)23-8466
旭川 (0166)25-3111
北見 (0157)61-0480

NOV., 2002

2K55-304
N211-4304-3L